

第10回全日本ハイシニアソフトボール大会群馬県予選会

競 技 規 則

- 1 競技規則
競技規則は、2015年(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールによる。
 - ・登録選手全員の氏名を打順表に記載すること。登録選手でも打順表に記載されていない場合は、出場できない(ベンチにもはいれない)。
 - ・金属スパイクの使用を禁止する。
 - ・球場内での喫煙を禁止する。
 - ・投球距離は12.19mとする。(オフィシャルルール)
- 2 選手の集合
選手は試合開始予定時刻の30分前、または前試合の4回終了までに、予定の球場に集合していること。
- 3 打順表の記入と提出
打順表に必要事項を記入し、試合開始予定時刻の30分前、または前試合の4回終了時まで、当該球場審判員に4部提出すること。
自チーム・他チームの打順表は、審判員が確認した後に受け取ること。
- 4 競技者席
第1試合は、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。第2試合以降は、連続して試合するチームがそのままベンチを使用する。登録メンバー以外はベンチに入れない。
- 5 フィールドイング
審判員の指示により、後攻のチームより5分間で行う。なお、天候条件等により時間を短縮したり、省略することもある。
- 6 競技用具
試合球は、(公財)日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球(ナガセケンコーゴム製)とし、各参加チームが1日につき2個用意する。規格以外のもの及び危険と思われるバット、ヘルメット等の用具は、試合終了まで審判員が預かるので、試合終了後受け取りに来ること。
ロジンはチームで用意する。
- 7 攻守・選手の交代
試合中は、すべて駆け足で敏速に行動すること。
選手の交代は、監督が速やかに球審に通告すること。
- 8 攻守交代時のボールの扱い
特に指示のない場合は、投手板の近くに置くこと。試合終了後は、審判員に渡すこと。
- 9 コールドゲームの適用(サスペンデッドゲームは採用しない。)
 - ・3回15点、4回10点、5回以降7点差が生じた時。
 - ・90分または7回を超えて新しいイニングに入らない。90分または7回を越えて同点の場合は、タイブレーカーを採用する。
- 10 リーグ戦で3チームが同率(1勝1敗)で並んだ場合の優劣の決定方法
 - ①失点率(失点÷守備イニング)の低いチームを優位とする。
 - ②失点率が同じ場合は、得点率(得点÷攻撃イニング)の高いチームを優位とする。
 - ③失点率、得点率とも同じ場合は、抽選とする。
- 11 試合中の障害処理について
試合中に発生した事故等については、チームで対処すること。
危険立入禁止区域内の事故等については、一切の責任を負いません。
(危険立入禁止区域については別図参照)
- 12 雨天時の開催決定と連絡について
 - ・主管支部からは連絡しません。チームから下記へ連絡してください。
 - ・決定時間 第1日目・第2日目・予備日とも午前7時00分とします。
 - ・連絡先 富岡市ソフトボール協会

※ 理事長 水江 半三 携帯☎ 090-2213-1053

※ 事務局長 小金澤 寛典 携帯☎ 090-1112-1908